

一般質問(4)



保谷こもれびホール(メインホール)

質問 劇場法で文化施設の向上を
質問 劇場法施行により、

保谷町5丁目の老朽化した鉄塔
条例適用し放置から適正管理に!

藤田 美智子(公明)

待機児解消対策

質問 平成26年度まで東京都が認めた待機児解消の緊急一時的措置である「年度途中に限った面積基準の緩和による定員の弾力化」で、190人の待機児を解消せよ。

答弁 一時的にせよ保護者の理解が得られにくい。

意見 待機児を抱える保護者の立場にも立ち、机上の計算ではなく現場を見た上で再度検討をすべき。

質問 待機児の保護者は入所できない理由や待機順位を知りたいが、問い合わせが「不服申立て」に当たり、入所が不利になると感じている。決定通知の権威的で非日常的な表記を改善せよ。

答弁 より丁寧な対応を検討したい。

空き地の環境保全

質問 保谷町5丁目の市道沿いに半世紀にわたり鉄塔が放置されている。大地震に備え、条例を適用し適正管理を急げ。

答弁 所有者が行方不明で対応が難しい現状である。

その他質問等

質問 保育ママ研修を拡充せよ
質問 住宅密集地や狭隘道路での初期消火・人命救助に、迅速に現場に到着できる消防バイクの配備を
質問 元氣な高齢者が継続して活躍でき、自身の介護予防にもなる介護ボランティアポイント制度の検討を

民間バス・はなバス路線を再編し
各公共施設に行きやすいルートをと

佐藤 公男(公明)

質問 道路の開設や拡幅、公共施設の再編に伴って、民間バスやはなバスのルートを見直すべきではないか。

答弁 その都度、バス事業者に対し新規路線・ルート変更を要請する。

芝久保公民館にはなバスを

質問 はなバス第4ルート
を田無駅南北で分割し、市民要望の多い芝久保公民館を通る北側ルートの新設を改めて要望する。

答弁 今後検討する。

劇場法で文化施設の向上を

質問 劇場法

施行により、

徹底した行財政改革で
市民負担の軽減を!

小幡 勝己(公明)

質問 基金を取り崩して予算編成しているが、行財政改革の進め方は。

答弁 経常収支比率が大きく悪化し、財政見直しは厳しい。市民負担、受益者負担の必要性は否定できない。

質問 第6期介護保険事業計画の検討状況について。

答弁 社会保障審議会において見直しを進めている。

質問 成年後見制度をさらに充実させよ。

質問 平成23年度は33件の相談実績があった。
質問 当市も高齢者聴力検査の導入が必要である。
答弁 調査研究したい。
質問 特別支援教育の教育環境の課題について。

ひばり北・栄町に集会施設の拡充
ひばりヶ丘駅南口交番の移設を!

佐々木 順一(公明)

質問 ひばりヶ丘駅のまちづくり計画道路事業を完成させ、利便性の高い地域環境を整備し、商業の活性化とにぎわいのある地域文化を創出することが事業の目的である。駅前地区の民間による共同化を誘導する、事業開発の取り組みを問う。

市長 建築物の共同化に関する補助金制度の検討を進めている。

質問 防災マップの作成を!

質問 スマートフォンの無料アプリを活用して、防災マップを作成してはどうか

答弁 防災ガイド&マップの改定に合わせて検討する。

質問 災害時の給水タンク増設を

質問 現在4台ある応急給水タンクの増設を求める。

答弁 今後水友会や東京都等と調整・検討する。

その他質問等

質問 家具転倒防止器具無償配布を再開せよ
質問 災害発生前に、各学校に避難所運営協議会の設置し、万全の体制を整えよ

質問 田無病院通りは。から交番前は、都市再生機構で実施する。交番から田無病院付近までの整備は、実施に向け努力する。



コープとうきょう付近(谷戸町2丁目)

ひばりヶ丘駅のまちづくり

質問 駅前地区は、都市計画道路事業を完成させ、利便性の高い地域環境を整備し、商業の活性化とにぎわいのある地域文化を創出することが事業の目的である。駅前地区の民間による共同化を誘導する、事業開発の取り組みを問う。

市長 建築物の共同化に関する補助金制度の検討を進めている。

質問 防災マップの作成を!

質問 スマートフォンの無料アプリを活用して、防災マップを作成してはどうか

答弁 防災ガイド&マップの改定に合わせて検討する。

質問 災害時の給水タンク増設を

質問 現在4台ある応急給水タンクの増設を求める。

答弁 今後水友会や東京都等と調整・検討する。

その他質問等

質問 家具転倒防止器具無償配布を再開せよ
質問 災害発生前に、各学校に避難所運営協議会の設置し、万全の体制を整えよ



都市計画道路3-4-13号線(栄町2丁目付近)

地域防災計画の見直しは、予防の原則や公助を基本に見直しを!

保谷 清子(共産)

質問 本市の地域防災計画見直しの視点について何う。予防や公助を基本にした見直しを求める。

答弁 最大の被害想定に基づき、公助と、自助・共助の啓発を検証し見直す。

質問 「精神障害者グループホーム」の増設、ひきこもり精神障害者への支援を求める。

答弁 平成24年7月に新たにグループホームが開設した。新規事業者の誘致を図っていく。ひきこもり者の支援は、東京都の事業で、医師等専門家チームによる訪問型支援事業がある。状況に応じ活用できるように都に働きかけていく。

質問 高齢者センター「きらら」2階の施設を、地域住民が使用できないか。

答弁 事業内容を確認し、規定の使用目的に適合しているかで判断する。

質問 東京都の東伏見公園事業については、地域住民の意見等を踏まえ、東京都への働きかけを求める。

答弁 丁寧な対応を都に求めていく。

質問 市の「公共施設の適正配置基本方針」では、公民館の統廃合や一部転用の方針が出されている。市民・利用者への説明や意見を聞くことが重要だ。

答弁 利用者懇談会で、説明・意見聴取を行う。

子どもの命を守るため交通擁護員
は下校時もすべて配置を

安斉 慎一郎(共産)

質問 保谷新道と市道1124号線の交差点は、児童の登校時間は交通擁護員が配置されているが、下校時は配置されていない。

答弁 京都府の痛ましい事故を受け、文部科学省より通学路の安全点検依頼があった。そのため、学校、保護者、道路管理者及び警察署による合同点検を平成24年7月上旬から8月下旬にかけて行った。平成24年9月中旬に教育委員会、道路管理者及び警察署の対策調整会議を開催し、具体的な対応策を協議する。

質問 登下校時間の両方配置している箇所数と、下校時

質問 登下校時間の両方配置している箇所数と、下校時

時間だけ配置して、下校時

時間だけ配置して、下校時

時間だけ配置して、下校時

問は配置していない箇所数を問う。またその理由は。

答弁 市内小学校で58カ所配置している。そのうち両方配置しているのが49カ所、午前中のみの配置が9カ所となっている。理由としては学校の判断による。

質問 市民が市に要望したときに「予算がないから」と言われたという声もある。市は子どもの命を守るために全力を尽くさなければならぬ。せっかく調査も行ったのだから学童の下校時の配置を検討すべきだ。

答弁 今回の合同点検の結果も踏まえ、交通擁護員のことについても全体の中で検討する。